

認 定 書

国 住 指 第 2906 号
平成 26 年 12 月 4 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-3985
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (不燃材料 (金属板を除く))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5 \pm 0.35以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	555.0 \pm 55.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.5\pm0.35mm以下</p> <p>質量555.0\pm55.5g/m²以下 (有機質量190.0\pm19.0g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>…質量30.0\pm3.0g/m² (固形量) 以下 (有機質量10.0\pm1.0g/m²以下)</p> <p>(1) 合成樹脂：質量30.0\pm3.0g/m² (固形量) 以下 (有機質量10.0\pm1.0g/m²以下)</p> <p>構成 (g/m²)</p> <p>{ 合成樹脂^{※1}.....10.0\pm1.0以下</p> <p>(但し、ポリエステル系は9.0以下とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ...0～20.0\pm2.0</p> <p>(2) なし</p> <p>[2] 主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>([1]化粧が(2)の場合に限る)</p> <p>…厚さ2.8\pm0.28mm以下</p> <p>質量385.0\pm38.5g/m²以下^{※3} (有機質量90.0\pm9.0g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>{ 塩化ビニル樹脂 67.2\pm6.7以下</p> <p>(但し、合成樹脂インキ^{※5}0～4.8\pm0.5含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) 32.2\pm3.2以下</p> <p>(但し、減粘剤は0～4.8\pm0.5の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ...5.6\pm0.6以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリラジド)</p> <p>.....0～2.9\pm0.3</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) 2.2\pm0.2以下</p> <p>有機質系顔料^{※7}0～1.9\pm0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)0～1.5\pm0.2</p>

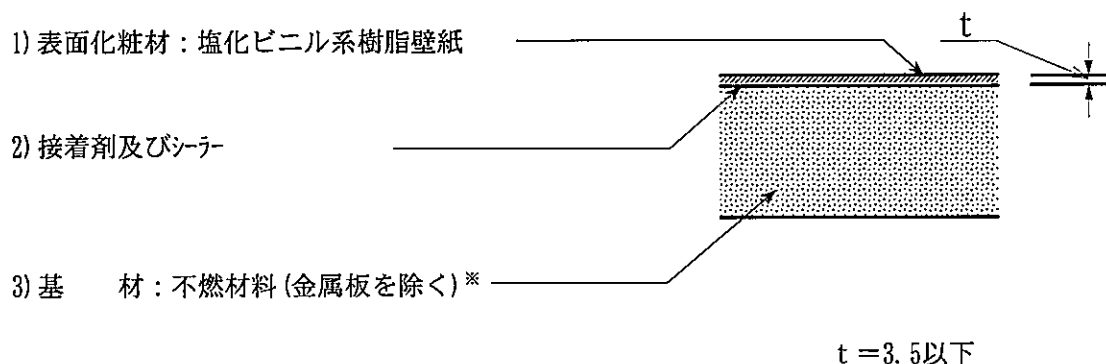
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下 質量$375.0_{\pm 37.5}$g/m²以下^{※3} (有機質量$80.0_{\pm 8.0}$g/m²以下^{※4}) 構成 (g/m²) ^{※3}</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル樹脂 …… $59.7_{\pm 6.0}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0~$4.3_{\pm 0.4}$含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $28.6_{\pm 2.9}$以下 (但し、減粘剤は0~$4.3_{\pm 0.4}$の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……$4.9_{\pm 0.5}$以上 有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリラジド) ……0~$2.6_{\pm 0.3}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $2.0_{\pm 0.2}$以下 有機質系顔料^{※7} ……0~$1.7_{\pm 0.2}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~$1.3_{\pm 0.1}$
	<p>(3) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下 質量$370.0_{\pm 37.0}$g/m²以下^{※3} (有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下^{※4}) 構成 (g/m²) ^{※3}</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル樹脂 …… $56.0_{\pm 5.6}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0~$4.0_{\pm 0.4}$含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $26.9_{\pm 2.7}$以下 (但し、減粘剤は0~$4.0_{\pm 0.4}$の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……$4.6_{\pm 0.5}$以上 有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリラジド) ……0~$2.4_{\pm 0.2}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $1.9_{\pm 0.2}$以下 有機質系顔料^{※7} ……0~$1.6_{\pm 0.2}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~$1.2_{\pm 0.1}$
	<p>(4) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下 質量$360.0_{\pm 36.0}$g/m²以下^{※3} (有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下^{※4}) 構成 (g/m²) ^{※3}</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル樹脂 …… $48.5_{\pm 4.9}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0~$3.5_{\pm 0.3}$含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $23.3_{\pm 2.3}$以下 (但し、減粘剤は0~$3.5_{\pm 0.3}$の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……$4.0_{\pm 0.4}$以上 有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリラジド) ……0~$2.1_{\pm 0.2}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $1.6_{\pm 0.2}$以下 有機質系顔料^{※7} ……0~$1.4_{\pm 0.1}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~$1.1_{\pm 0.1}$

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※8}：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$100.0_{\pm 10.0}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …$100.0_{\pm 10.0}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$24.0_{\pm 2.4}$以下とし、かつ有機質量を$80.0_{\pm 3.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$13.6_{\pm 1.4}$以下 有機繊維^{※9} …$72.0_{\pm 7.2}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$73.0_{\pm 7.3}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$26.2_{\pm 2.6}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2]主素材が(3)で且つ[1]化粧が(2)の場合、又は[2]主素材が(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$115.0_{\pm 11.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …$115.0_{\pm 11.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$27.6_{\pm 2.8}$以下とし、かつ有機質量を$92.0_{\pm 9.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$15.5_{\pm 1.6}$以下 有機繊維^{※9} …$82.0_{\pm 8.2}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$83.0_{\pm 8.3}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$30.0_{\pm 3.0}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p>

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか又は組合せとする。</p> <p>※3:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※4:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※5:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エレン・リコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、イソキ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※9:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:合成樹脂系繊維は、ナイロン、アラミド、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { でん粉のり ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー:合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { メチルセルロース ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー:合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>※11: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位:mm)



※平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの